



各 OS に共通する主要な操作のガイド

Revision 2 for MobileSheetsPro v2.7.7

目次

はじめに.....	1
ファイルのインポートとソングの作成.....	1
フォルダー中のファイルをまとめてインポート.....	1
セットリストの作成.....	2
セットリストの編集.....	2
セットリスト名の変更.....	2
ソングの編集.....	2
バッチ(まとめて)編集.....	3
ソングへのオーディオの追加.....	3
ソングとグループの削除.....	3
ソングの削除.....	3
グループ(セットリスト、コレクション、キーなど)の削除.....	4
ソングやセットリストの印刷.....	4
ソングやセットリストのシェア.....	4
ソングのシェア.....	4
セットリストのシェア.....	5
ソングのリストを作成.....	5
ソングへのアノテーション(書き込み).....	5
ノート(メモ)の作成.....	6
テキストや CHORD PRO ファイルの設定と編集.....	6
移調.....	6
ソング表示を絞り込むためにコレクションを活用.....	6
大きな PDF ファイルの分割.....	7

CSV ファイルを利用した切り分け	7
PDF ブックマークを利用した切り分け	7
スニペットの作成機能を利用.....	7
ソングエディターの利用.....	8
デバイスの接続とページめくりの同期.....	8
ペダルの接続と活用.....	9
ペダルが接続された仮想キーボードを有効にする.....	9
ディスプレイモードの変更.....	10
ページのクロップ(切り取り).....	10
ページを自動的にスクロール.....	11
リンクポイントを利用したページ間のジャンプ	11
ライブラリーのバックアップ.....	11
バックアップファイルからのライブラリーの回復.....	12
共通する質問とトラブル.....	12
ソングオーバーレイ画面がズームできない・表示されない.....	12
アノテーションが一切できない.....	13
MOBILESHEETSPRO を使用するにはインターネット接続が必須ですか?	13
MobileSheetsPro のアップデートはどうやって行いますか?	13

はじめに

このガイドでは、ファイルを取り込んだり、ソングへ書き込みをしたり、ライブラリーを管理したり、といった MobileSheetsPro の標準的な操作をステップバイステップで解説します。詳細を知りたい場合は





<http://www.zubersoft.com/mobilesheets/MobileSheetsPro.pdf> にあるフルマニュアルを参照してください。

ファイルのインポートとソングの作成

楽譜ファイルをインポートするもっとも手っ取り早い方法は以下のとおりです。



- 1) ライブラリー画面の一番上にある  をタップします。
- 2) ドロップダウンリストの中から、タブレット中にあるファイルを選ぶ
 Local File アイコンか、Dropbox のファイルを選択する  Dropbox
か、Google Drive  Google Drive または OneDrive のファイルを対象とする
 OneDrive をタップします。
- 3) インポートしたいファイルが存在するフォルダーを選択します。
- 4) ソングを構成する各ファイルを選択し、画面上の「OK」ボタンをタップします。
- 5) インポート設定ダイアログで、ソングに付与する属性を指定(該当する項目をタップして、ソフトウェアキーボードで入力し、最後に「OK」をタップします。
- 6) 作成したソングは、ライブラリー画面のソングタブに表示されます。

フォルダー中のファイルをまとめてインポート

- 1) ライブラリー画面の一番上にある  をタップします。
- 2)  Batch Import を選んで一括(バッチ)インポート画面を表示させます。
- 3) インポート元のフォルダを  で選びます。クラウドからインポートする場合は、ブラウザの右上にある  アイコンをクリックしてクラウドの種類 (Dropbox/Google Drive/OneDrive) を指定します。フォルダーが選択できたら、OK をタップします。
- 4) PDF ファイルなど、特定の種類のファイルのみをインポートしたい場合はフィルター設定で行います。

- 5) ソングの作曲者やキーなどの情報を、必要に応じて入力します。
- 6) 画面右上の「開始」 ボタンをタップして全ファイルをインポートします。
- 7) インポート完了を知らせるダイアログを閉じると、作成したソングがすべてライブラリー画面のソングタブに表示されます。


セットリストの作成

- 1) ライブラリー画面の一番上にある **Setlists** タブをタップします。
- 2) 画面右端にある **+ NEW** ボタンをタップします。
- 3) セットリストの名前を入力します。
- 4) セットリスト編集画面になるので、右側のソング一覧上でタップするとセットリストの最後にそのソングが追加されます。ソングをドラッグして任意の順序へ移します。セットリスト中のソングの場所を移動するには  を上下にドラッグします。セットリストからソングを削除するには  アイコンをタップします。
- 5) タブレットの「戻る」ボタンを押して編集を終了します。
- 6) セットリストを呼び出すには、セットリストタブ上で名前をタップし、「すべてロード」をタップします。セットリスト中の特定のソングを表示させるには、そのソングの名前をタップします。


セットリストの編集

- 1) セットリストタブでセットリスト名を長押しします。
- 2) 画面一番上に表示される  **EDIT** ボタンをタップします。


セットリスト名の変更

- 1) セットリストタブでセットリスト名を長押しします。
- 2) 画面右上にあるオーバーフローメニュー  をタップします。
- 3) **Rename** メニューをタップします。



ソングの編集

- 1) ライブラリー画面のソング上で長押しして選択モードにします(チェックボックスがソング横に表示されます)。
- 2) 画面上部の  ボタンをタップします。
- 3) フィールドタブでメタデータ(属性)情報を編集します。
- 4) ソングへのファイルの追加や削除、クロップ、ページの回転やページ順序の変更はファイルタブで行います。
- 5) オーディオタブで、オーディオファイルを追加できます。
- 6) MIDI タブで、MIDI コマンドを追加できます。

バッチ(まとめて)編集


- 1) 複数のソングを一度に編集するには、まずライブラリー画面のソング上を長押しして選択モード(チェックボックスが表示されます)にして、対象の各ソングをタップして選択します。
- 2) 画面上の  ボタンをタップします。
- 3) 全ソングに適用したいメタデータを変更します。項目の横にチェックボックスがある属性だけが変更されます。
- 4) OK をタップして変更内容を反映させます。

ソングへのオーディオの追加


- 1) ソングエディター画面で、オーディオタブを開きます。
- 2)  アイコンをタップしてタブレット上のファイルを選択するか、 アイコンを使って外部アプリでファイルを呼び出します。
- 3) オーディオファイルを1つ以上選択したら、ソングエディターの右上にあるOK ボタンをタップして変更内容を保存します。
- 4) ソングをタップして読み込みます。
- 5) 画面中央をタップしてオーバーレイ画面を呼び出すと、オーディオプレイヤーが表示されます(オーバーレイ画面の再生ボタンをタップしてプレイヤーを出し入れします)。
- 6) オーディオプレイヤー上で再生ボタンをタップすると、オーディオが再生されます。

ソングとグループの削除



ソングの削除

- 1) ライブラリー画面上でソングを長押しして選択モードにします(チェックボックスが表示されます)。
- 2) 画面上の  ボタンを選択します。
- 3) 本当に削除してよいか確認の画面が表示されます。

グループ(セットリスト、コレクション、キーなど)の削除


- 1) それぞれのタブ上で、対象グループを長押しして選択モードにします(チェックボックスが表示されます)。
- 2) 画面上の  を選択します。
- 3) 本当に削除してよいか確認の画面が表示されます。

ソングやセットリストの印刷

- 1) ソングやセットリストを印刷するには、まずソングやセットリストを長押しして選択モードにして(チェックボックスが表示されます)、印刷したい複数のソングやセットリストをタップします。
- 2) 画面右上のオーバーフローメニュー  をタップします。
- 3) メニュー中の  Print ボタンをタップします。
- 4) 印刷設定を指定し、印刷ジョブを開始します。注意: 印刷ジョブをクラウドやネットワークプリンターへ送信する、PrinterShare などの印刷用アプリがインストールされていなければなりません。


ソングやセットリストのシェア

ソングのシェア


- 1) ライブラリー画面上でソングを長押しして選択モードにし(チェックボックスが表示されます)、シェアしたい各ソングをタップします。
- 2) 画面上の  ボタンを選択します。
- 3) 全ソングが含まれるファイルを他の MobileSheetsPro ユーザーにシェアする場合は「.msf 形式でシェア」を選択し、そのソングに使われているファイルだけをシェアする場合は「ファイルをシェア」を選択します。

- 4) ファイルをシェアするのに利用するアプリを選択します。
- 5) どのプロパティ(情報)をシェアするかオプション画面で指定したら、OK をタップしてファイルのシェアを許可します。


セットリストのシェア

- 1) ライブラリー画面上でセットリストを長押しして選択モードにし(チェックボックスが表示されます)、シェアしたい各セットリストを選択します。
- 2) 画面上の  ボタンを選択します。
- 3) 全セットリストとそれに含まれるソングを他の MobileSheetsPro ユーザーにシェアする場合は「ソングとファイルのシェア」を選択します。セットリスト中に含まれるソングが参照しているファイルだけをシェアしたい場合は「ファイルをシェア」を選択します。セットリストだけを他の MobileSheetsPro ユーザー(すでに同じソングをライブラリー上で持っている人)とシェアしたい場合は「ソングリストをシェア」を選択します。
- 4) ファイルをシェアするのに利用するアプリを選択します。
- 5) 「ソングリストをシェア」を指定した場合は、作成されシェアされるファイル名を指定します。他のオプションを指定した場合は、どのプロパティ(情報)をシェアするかオプション画面で指定したら、OK をタップしてファイルのシェアを許可します。

ソングのリストを作成


- 1) ライブラリー画面上のセットリストを長押しして選択モード(チェックボックスが表示されます)にして、シェアする各セットリストをタップします。
- 2) 画面右上のオーバーフローメニュー  を選択します。
- 3) 「ソングリストを作成」をタップします。
- 4) ソングのリストをシェアするのに利用するアプリを選択します。

ソングへのアノテーション(書き込み)


- 1) ソングを読み込んで、書き込みたいページまでめくります。
- 2) ソングオーバレイ画面の左上にある  アイコンをタップするか、三本指でタップしてアノテーションモードにします。

- 3) 画面上にあるツールを切り替えます。描画ツールでは、楽譜上を指でドラッグすることでアノテーションを書き込みます。各ツールのプロパティはそれぞれの設定画面で変更できます。
- 4) 画面右上の保存ボタンをタップして書き込みを保存します。右上にある左右の矢印アイコンでページを切り替えます。


ノート(メモ)の作成

- 1) ソングを読み込んで画面中央をタップしてオーバーレイ画面を呼び出します。
- 2)  アイコンをタップしてノート画面を表示します。
- 3) 画面中央をタップして、ノートの編集画面を表示します。
- 4) 当該ソングのロード時にノートを表示させたい場合は、ノート編集画面の一番上にあるチェックボックスへチェックをいれます。

テキストや CHORD PRO ファイルの設定と編集

- 1) テキストまたは Chord Pro ファイルをインポートして新規ソングとして読み込みます。
- 2) 画面中央をタップして、オーバーレイ画面を呼び出します。
- 3) オーバーレイ画面の右上にある  アイコンをタップします。
- 4) Chord Pro ファイルの表示設定を変更するには、**Text Display Settings** をタップします。
- 5) ファイル内容を編集するには、**Edit File** をタップします。

移調



- 1) テキストもしくは Chord Pro ファイルを呼び出します。
- 2) 画面中央をタップして、オーバーレイ画面を呼び出します。
- 3) オーバーレイ画面の右上にある  アイコンをタップします。
- 4) 矢印をタップして、ソングのキーを変更します。

ソング表示を絞り込むためにコレクションを活用


- 1) コレクションタブで、コレクションタブを作成し、ソングを割り当てます。
- 2) タブレットの「戻る」ボタンでライブラリー画面まで戻り、ソングタブを選択します。
- 3) 左側にあるフィルターバーで、「コレクション：」の横にあるドロップダウンをタップします。
- 4) 絞り込むフィルターを選択します。モードに「含める」を指定していると、そのコレクションに割り当てられたソングだけが表示されます。
- 5) 参加するバンドごとのような、ソングを振り分ける用途にコレクションを活用します。

大きな PDF ファイルの分割



CSV ファイルを利用した切り分け

- 1) 対象の PDF ファイルから派生させたい情報を含む CSV ファイルを作成します。CSV ファイル名は、PDF ファイルと拡張子を除いて同じ名前のファイルでなければいけません。作成する CSV ファイルの詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。
- 2) ライブラリー画面の上にある  をタップします。
- 3) ドロップダウンメニューから  をタップします。
- 4) PDF ファイルと同じフォルダー上に置いておいた、CSV ファイルを選択します。
- 5) ウィンドウ上に表示される一覧から、作成したい各ソングをタップします。既存のソングを再インポートにより更新することはできません。


PDF ブックマークを利用した切り分け

- 1) ライブラリー画面の上にある  をタップします。
- 2) ドロップダウンメニューから  をタップします。
- 3) PDF ファイルを選択します。
- 4) PDF ファイル中に含まれる全ブックマークがウィンドウ上に表示されます。作成したい各ソングをタップします。





スニペットの作成機能を利用

- 1) 大きい PDF ファイルをインポートして、まず単一のソングをそのファイルから作成します。
- 2) そのソングをタップして読み込みます。新しいソングとして扱いたいページをメモしておきます。
- 3) 画面中央をタップして、ソングオーバーレイを表示させます。
- 4) オーバーレイ画面の左下にある  アイコンをタップしてメニューを表示させ、  **Create Snippet** をタップします。
- 5) 新しいソングの名前を入力します。
- 6) 「ページ」の項目をタップして、このソングのどのページを新たなソングとして切り出すか指定します。
- 7) 必要なオプションにチェックを入れたあとで、「OK」をタップすると新しくソングが作成されます。
- 8) 同じ PDF から取り出したい各ソングについて、上記のステップ 4 から 7 を繰り返します。






ソングエディターの利用

- 1) 大きな PDF ファイルをインポートして、まず単一のソングをそのファイルから作成します。
- 2) ライブラリー画面上でソングを長押しで選択し、画面上の  **COPY SONG** をタップします。
- 3) 新しいソング名を入力します。
- 4) ファイルタブへ移動し「ページ順」の項目を選択します。新しいソングで利用したいページをすべて指定します。
- 5) 「OK」をタップすると新しくソングが作成され、同じ PDF ファイルを共有します。
- 6) 各ソングについて、上記のステップ 2 から 5 を繰り返します。

デバイスの接続とページめくりの同期

- 1) 同期したい各デバイスで、画面右上のオーバーフローメニュー  をタップして  **Connect Devices** を選択します。
- 2) 「接続方法」のドロップダウンで、WiFi か Bluetooth を選択します。
- 3) 接続する子デバイスをコントロールする親デバイスで、  ボタンをタップします。
- 4) グループの名前を入力し、その他の設定を選択します。
- 5) それぞれの子デバイスで、リスト表示からグループを選択して  ボタンをタップします。
- 6) 親デバイスでソングやセットリストを読み込んだり、ページをめくります。選択した設定に応じて、ソングやセットリストがすべての子デバイスで表示され、同期してページがめくられます。

ペダルの接続と活用

- 1) Bluetooth ペダルを利用する場合は、まずペダルをデバイスへペアリングします。USB 機器の場合は、ペダルをタブレットへ接続します。
- 2) MobileSheetsPro を開き、画面右上にあるオーバーフローメニュー  を開いて  **Settings** を選択します。
- 3) 画面左側の  **Touch & Pedal Settings** をタップします。
- 4) 画面右側の「ペダルアクション」をタップします。
- 5)  ボタンをタップします。
- 6) まず  ボタンをタップします。
- 7) アクションを割り当てたいペダルを踏みこみます。
- 8) 「キー」項目に操作が表示されたら、「OK」をタップします。
- 9) ペダルに対応するアクションを「動作」メニューから選択します。
- 10) 必要な各ペダルについて上記のステップ 5 から 9 を繰り返します。

ペダルが接続された仮想キーボードを有効にする


- 1) タブレットの設定ページを開きます。
- 2) システムにある、言語と入力をタップします。
- 3) 物理キーボードの項目を選択します(古いデバイスでは「デフォルト」と表示されることがあります)。

- 4) 「画面キーボードの使用」をオンにします(古いデバイスではハードウェアの選択を解除しなければならないことがあります)。



デバイスによっては設定ページから仮想キーボードを有効にできないことがあります。このようなデバイスでは以下の手順を試してみてください。

- 1) Google Play ストアで「Hacker's Keyboard」を入手します。
- 2) タブレットの「言語と入力」設定で、Hacker's keyboard をデフォルトのキーボードとして指定します。
- 3) Hacker's Keyboard 設定を開き(キーボードの歯車アイコンかマイクアイコンを長押し)、「Show Soft Keyboard」メニューまでスクロールしてチェックを入れ、「Always」表示するよう指定します。

ディスプレイモードの変更



- 1) ソングを読み込んだ後で、画面中央をタップしてオーバーレイ画面を呼び出します。
- 2) オーバーレイの下にある  をタップします。現在のタブレットの向きに応じた設定が表示されます。
- 3) 「ディスプレイモード」を切り替えると、背面に表示されたページが切り替わります。「シングルページ」「2 ページ」「ハーフページ」「垂直スクロール」が選択できます。
- 4) 必要であれば、「ソングでデフォルトのディスプレイ設定を使用」のチェックを外すことでソングごとに設定を指定することができます。

ページのクロップ(切り取り)



- 1) ソングを読み込み、画面中央をタップしてオーバーレイ画面を呼び出します。
- 2) オーバーレイの下にある  アイコンをタップします。
- 3) ポップアップメニューから  をタップします。
- 4) クロップ画面上で、青い四角形をドラッグしてページ上で切り取る部分を指定します。青い四角形の外側に位置する部分は表示されなくなります。
- 5) ソング中の全ページについて自動的にクロップしたい場合は「自動クロップ」ボタンをタップします。

- 6) 元のファイルに影響を与えることなく、クロップ指定はいつでも変更できます。

ページを自動的にスクロール



- 1) ソングを読み込み、画面中央をタップしてオーバーレイ画面を呼び出します。
- 2) オーバーレイ画面の左下にある  アイコンをタップしてメニューを呼び出し、 **Scroll Settings** をタップします。
- 3) 所望の設定に変更し、OK ボタンをタップして設定を保存します。
- 4) スクロールを開始するには、上記のステップ 2 で表示される **Start Scrolling** オプションをタップするか、画面右下をタップしてクイックアクションボックスを表示させ  アイコンをタップします。

リンクポイントを利用したページ間のジャンプ

- 1) ソングを読み込み、画面中央をタップしてオーバーレイ画面を呼び出します。
- 2) オーバーレイ画面右下にある  アイコンをタップします。
- 3) 表示された画面の右下にある  アイコンをタップします。
- 4) ジャンプ元のページ上でタップしてリンクポイントを配置します。
- 5) ページをスワイプするかページスライダーでジャンプ先のページまで移動します。
- 6) ジャンプ先の場所をタップします。
- 7) 上記のステップ 4 で配置したリンクポイントをタップすると、ステップ 5 で指定したジャンプ先へページが飛びます。ジャンプ先のポイントが明るく表示されます。

ライブラリーのバックアップ

- 1) 画面右上のオーバーフローメニュー  をタップして **Settings**  を選択します。
- 2) 左側のリストから **Backup and Restore** をタップします。
- 3) 「ライブラリーのバックアップ」をタップします。
- 4)  アイコンをタップして、バックアップファイルの保存先を指定します。

ファイル選択画面上で  や  のアイコンをタップすることで Dropbox か Google Drive を保存先として選ぶこともできます。


- 5) 「OK」をタップすると、ライブラリー中の情報がすべて含まれる.msb ファイルが作成されます。

バックアップファイルからのライブラリーの回復


- 1) 画面右上のオーバーフローメニュー  をタップして **Settings**  を選択します。
- 2) 左側のリストから **Backup and Restore** をタップします。
- 3) 「ライブラリーのリストア」をタップします。
- 4)  アイコンをタップして.msb バックアップファイルを選択します。ファイル選択画面の右上にある  や  のアイコンをタップすることで Dropbox か Google Drive 上のファイルを選択できます。
- 5) 「OK」をタップするとバックアップファイル中のすべてのファイルが取り込まれます。この操作では既存のライブラリーは完全に置き換わってしまいます。

共通する質問とトラブル

ソングオーバーレイ画面がズームできない・表示されない

ライブラリーモードでパフォーマンスモードが有効になっているためかもしれません。パフォーマンスモードを無効にするには、ライブラリー画面の右側にあるフローティングバー上の  アイコンをタップします。これでズームやソングオーバーレイ画面が有効になるでしょう。

アノテーションが一切できない

アノテーション編集画面で何らかの理由でスタイラスペンが有効になってしまったケースが多いです。スタイラスを無効にするには、アノテーションエディターを開き、画面左上の  アイコンをタップしてスタイラスモード設定をタップします。指でアノテーションを追加できるようになるはずですが。

MOBILESHEETSPRO を使用するにはインターネット接続が必須ですか？

Google Play 版のアプリではライセンス確認の際にだけインターネット接続が必要で、ライセンス情報はデバイス上に残ってキャッシュされ、それ以降のインターネットアクセスは不要です。Amazon App Store 版ではライセンス情報の確認のために毎週定期的に Amazon App Store へログインする必要がありますが、MobileSheetsPro 自体はインターネットアクセスを必要としません。Windows 版ではインターネットアクセスは不要です。

MOBILESHEETSPRO のアップデートはどうやって行いますか？

MobileSheetsPro を入手したアプリストアを開き、アプリを入手したときに利用したアカウントでログインして、MobileSheetsPro を検索してからストアページ上の「更新」ボタンをタップしてください。「更新」ボタンが表示されない場合は、すでに最新版がインストールされているか、正しくないメールアドレス(アカウント)でログインしています。